

アンケート集計結果

アンケート回答者 (44名回答/105名中)

年代 ・ 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代以上
0 2 6 10 16 7 2

性別 ・ 男 ・ 女
20 23

居住地または勤務地

・ 松江地区 ・ 出雲地区 ・ 石見地区 ・ 隠岐地区 ・ 鳥取県 ・ 広島県
20 10 6 0 5 1

職業等 ・ 医師0、看護師1、理学療法士1、整体2、鍼灸按2、カイロ1、不明1
・ 小学校3、中学校1、高校2、特別支援学校2、大学1、養護教諭3
・ 県2、市1、市教委1、県議1
・ 企業1、損保保険会社2、団体1
・ 患者7、患者家族6、一般9

◎ 「脳脊髄液減少症」を、どのようにして知りましたか。(複数回答可)

・ テレビ10 ・ 新聞10 ・ インターネット6 ・ 病院5
・ 友人知人11 ・ 今回のチラシ11 ・ 専門書2 ・ 会員の説明2
・ 業務上1 ・ 県教委から学校あての文書3 ・ 県議会1

◎ 「脳脊髄液減少症」について、今後どのような企画があればよいと思いますか。

・ 専門医による講演会 31
・ 患者支援団体等による現状報告 12
・ 体験談を語り合う集い 12
・ 医師・県・行政・県市教委を交えた会 2
・ 教育関係者の研修 2

◎本日のセミナーについて、ご感想をお聞かせください。

- ・病状がよく理解できた、有意義、勉強になった、良い機会、今後もぜひ
- ・医師も行政も国民もこの病気を知ってほしい、保険適用になってほしい、啓発を頑張る
- ・社会の現状がよくわかった。対策・対策に急ぎたい（行政・医師・啓発）
- ・病名無し、不登校、精神病、怠け病、不定愁訴で苦しんでいる人たちの救済を
- ・自分がこの病気に該当するか知りたい、受診することにした。
- ・もっと治療機関を。すべての医師が診察できるガイドラインの周知を。
- ・子どもの観察(不登校など)には、多面的な視点と知識が必要、重要。
- ・島根に、専門医も患者協会も県や市の行政の方々も一緒に集う会はすごいこと。